

光学式USB ワイヤレスマウス

取扱説明書・保証書

お買い上げいただき、ありがとうございます。

△警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保管してください。

SMU-WC3

© 2005 Sony Corporation Printed in China

品名 光学式USBワイヤレスマウス
型名 SMU-WC3
保証書 T11-1001A-3

この位置に保証書フィルムを正しく合成して、フィルムを完成させること

Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保証書完成菲林。

在此位置插入保証書以完成胶片。

△警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

下記のものをお読みください。

- ① この取扱説明書の注意事項
- ② お使いになるコンピュータに付属の取扱説明書

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 异常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落したり、キャビネットを破損したとき

お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する



警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

行為を禁止する記号



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

△警告

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

△注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

△警告

- 機器の表示に合わせて+/-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取り外す。長時間使用しないときも取り外す。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

△注意 下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあります。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

下記のものをお読みください。

- ① この取扱説明書の注意事項
- ② お使いになるコンピュータに付属の取扱説明書

内部に水や異物を入れない

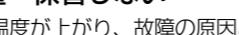
水や異物が入ると故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。そのままコンピュータに接続すると、コンピュータの故障の原因になることがあります。

内部を開けない

内部の点検、修理は、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

直射日光のあたる場所や熱機具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、故障の原因となることがあります。



主な仕様

インターフェース デスクトップコンピュータ: USB、PS/2(接続変換アダプター使用時)
ノートブックコンピュータ: USB

コネクタ USB ブラグ
PS/2(接続変換アダプター)

分解能 800 counts/inch

送信周波数 27 MHz

チャンネル 1 ch 8190ID

電界強度 500 μV/m

到達距離 約1 m(この距離は、おおよそその目安であり受信環境により短くなる場合があります。)

電源 単3形アルカリ乾電池×2

対応機種 - USB A端子またはPS/2端子付きデスクトップコンピュータ

- USB A端子付きノートブックコンピュータ

- IBM PC/AT互換機(CPUはPentium相当以上)

- Apple製コンピュータ(CPUはPower PC G3/G4/350MHz以上)

- Windows XP Media Center Edition 2005、Windows XP Media Center Edition 2004、Windows Professional、Windows XP Home Edition、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition、Windows 98 Second Edition

- Mac OS 9.1以降(Mac OS 9.xは、1ボタン仕様の対応となります。)

上記以外のOSではご使用になれません。また、日本語版標準インストールのみ対応です。OSアップグレードコンピュータは動作保証されません。

動作温度 5°C ~ 35°C

動作湿度 20% ~ 80% (結露のないこと)

保存温度 -10°C ~ 60°C

保存湿度 10% ~ 90% (結露のないこと)

外形寸法 マウス本体 約64.3 × 32 × 99.7 mm
(幅 × 高さ × 奥行き)

受信ユニット 約19 × 12.5 × 87.8 mm
(縦 × 横 × 高さ)

質量 マウス本体 約115 g(電池含む)

電池持続時間 受信ユニット 約14.7 g

付属品 3.3ヶ月(一般使用時)(注)(アルカリ乾電池使用)

受信ユニット(1)、接続変換アダプター(USB → PS/2)(1)、受信ユニットアンテナ(1)、

単3形乾電池(2、お試し用)

取扱説明書・保証書(1)

(注) 1日8時間、本機のPOWER ON/OFFスイッチをONにし、その内の10%を動作させた場合の理論値です。使用条件によつて電池持続時間も変わってきます。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

△注意

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
指定された種類以外の電池は使用しない。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

操作について

急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。

異常や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

本体表面の取り扱いについて

本体表面が汚れたときは、乾いた布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、うすめた中性洗剤を布に含ませてふきとってから、乾ふきします。化学ぞうきんを使うときは、その注意書きにしたがってください。また、以下のことに気をつけてください。本体表面が変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

・ アルコール、シンナー、ベンジンは使わないでください。

・ 殺虫剤やヘアスプレーをかけないでください。

・ 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。

主な仕様

インターフェース デスクトップコンピュータ: USB、PS/2(接続変換アダプター使用時)
ノートブックコンピュータ: USB

コネクタ USB ブラグ
PS/2(接続変換アダプター)

分解能 800 counts/inch

送信周波数 27 MHz

チャンネル 1 ch 8190ID

電界強度 500 μV/m

到達距離 約1 m(この距離は、おおよそその目安であり受信環境により短くなる場合があります。)

電源 単3形アルカリ乾電池×2

対応機種 - USB A端子またはPS/2端子付きデスクトップコンピュータ

- USB A端子付きノートブックコンピュータ

- IBM PC/AT互換機(CPUはPentium相当以上)

- Apple製コンピュータ(CPUはPower PC G3/G4/350MHz以上)

- Windows XP Media Center Edition 2005、Windows XP Media Center Edition 2004、Windows Professional、Windows XP Home Edition、Windows 2000 Professional、Windows Millennium Edition、Windows 98 Second Edition

- Mac OS 9.1以降(Mac OS 9.xは、1ボタン仕様の対応となります。)

上記以外のOSではご使用になれません。また、日本語版標準インストールのみ対応です。OSアップグレードコンピュータは動作保証されません。

動作温度 5°C ~ 35°C

動作湿度 20% ~ 80% (結露のないこと)

保存温度 -10°C ~ 60°C

保存湿度 10% ~ 90% (結露のないこと)

外形寸法 マウス本体 約64.3 × 32 × 99.7 mm
(幅 × 高さ × 奥行き)

受信ユニット 約19 × 12.5 × 87.8 mm
(縦 × 横 × 高さ)

質量 マウス本体 約115 g(電池含む)

電池持続時間 受信ユニット 約14.7 g

付属品 3.3ヶ月(一般使用時)(注)(アルカリ乾電池使用)

受信ユニット(1)、接続変換アダプター(USB → PS/2)(1)、受信ユニットアンテナ(1)、

単3形乾電池(2、お試し用)

取扱説明書・保証書(1)

(注) 1日8時間、本機のPOWER ON/OFFスイッチをONにし、その内の10%を動作させた場合の理論値です。使用条件によつて電池持続時間も変わってきます。

当社では本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するため必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間に経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

部品の保有期間にについて

当社では本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するため必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間に経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

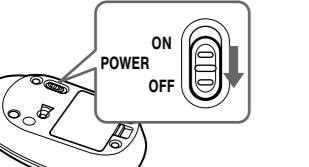
保有期間に経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

保有期間に経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

保有期間に経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ

電池の入れかた

- 1 本体底面にあるPOWER ON/OFFスイッチをOFFにする。



- 2 電池ケースのフタを図のように開ける。

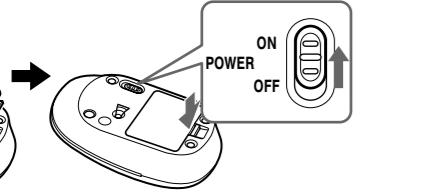


- 3 +と-の向きを確認し、乾電池2本を入れる。



- 4 電池のフタを図のように閉じる。

POWER ON/OFFスイッチをONにすると、光学センサーLEDが点滅します。



ご注意

- 付属の乾電池はお試し用ですので、新しい乾電池より使用時間が短くなります。お使いになる際には、新しいアルカリ乾電池をおすすめします。
- 航空機内での無線機器の使用は、航空機の運行に支障をきたす恐れがあるため禁止されています。本機を機内に持ち運ぶ場合は、ボタンなどが押され、電波が発生する恐れがありますので、電池を抜いて携帯してください。

節電について

本機は、電池の消耗を抑えるためにPOWER ON/OFFスイッチとスリープモード機能を搭載しています。

POWER ON/OFFスイッチ

本機のPOWER ON/OFFスイッチをOFFにすると、本機の電源を切ることができます。電池の消耗を抑えます。

スリープモード

本機をしばらく使わないと入力が感知されないため、自動的にスリープモードに入り電池の消耗を抑えます。

本機を使わないときは

図のように本体の底面にあるPOWER ON/OFFスイッチをOFFに切り換えておくと、電池の消耗を抑えることができます。

ただし長時間使用しないときは電池を抜いておいてください。

電池の交換時期

電池が消耗くると、普段使用しているマウス本体と受信ユニット間の距離が短くなっています。

この場合、ワイヤレスマウスの機能を引き続き利用するために新しいアルカリ乾電池を準備してください。

新しい電池に交換してもマウス本体と受信ユニット間の距離が普段使用している距離よりも短い場合には、

使用環境に問題があると考えられます。その場合は、取扱説明書内の「ワイヤレスマウスの設置環境について」をお読みください。また、マウス本体の底の光学センサーLEDが消灯しますと、電池が無くなり動作しません。

この様な場合には、新しいアルカリ乾電池と交換してください。

ワイヤレスマウスを接続する

本機は、USB接続に対応したワイヤレスマウスです。デスクトップコンピュータでは、付属の接続変換アダプターを使ってPS/2端子にも接続することができます。

はじめに

現在ご使用中のマウスが接続されている場合は、そのマウスを取り外してください。

ご注意

- 本機の受信ユニットをコンピュータに接続するとき、またはコンピュータを起動するときは、認識されるまでマウスを動かさないでください。
- USBハブを使ってコンピュータに接続しないでください。
- コンピュータやOSの状況によっては、動作しなかったり、動作が不安定となったりすることがあります。その場合は、「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
- USB端子から受信ユニットを取り外したあとに、再び差し直す場合は、約5秒待ち、再び差し込んでください(デバイスの認識がされない場合があります)。

受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続する。コンピュータが本機を自動的に認識し、使用できるようになります。

ご注意

一部のコンピュータでは、OSのディスクを要求される場合があります。その場合はコンピュータの指示に従って操作してください。

ヒント

- 本機の受信ユニットは、コンピュータの電源が入った状態でも、接続したり取り外したりすることができます。
- 受信ユニットをコンピュータに接続した状態で、受信ユニットに力を加えると、受信ユニットが破損したり、コンピュータが故障したりする場合がありますので、注意してください。

PS/2端子に接続する場合

本機は、付属の接続変換アダプター(USB→PS/2)を使ってデスクトップコンピュータのPS/2端子に受信ユニットを接続して、コンピュータの電源を入れるだけで、本機が認識され、使用できるようになります。(ノートブックコンピュータではPS/2接続はできません。)はじめて本機を接続するときは、受信ユニットをコンピュータに接続したあと、初期設定については、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をご覧ください。

受信ユニットアンテナの使いかた

USB端子がコンピュータの背面にあつたり、コンピュータの本体を机の下に設置してあるなど、本機を受信ユニットから離れた所で使うときは、付属の受信ユニットアンテナを受信ユニットに接続してください。本機からの送信出力を受信しやすい位置に設置することができます。

1 受信ユニットに受信ユニットアンテナを接続する。

2 付属の接続変換アダプター(USB→PS/2)を使用し、受信ユニットをコンピュータのPS/2端子に接続する。

3 コンピュータを起動する。

コンピュータが本機を自動的に認識し、使用できるようになります。

ご注意

- PS/2端子に接続したり、取り外したりするときは、コンピュータの電源をOFFにしてから行ってください。
- 付属の接続変換アダプター(USB→PS/2)は、本機専用です。ほかのPS/2接続変換アダプターは、使用しないでください。また、付属の接続変換アダプター(USB→PS/2)を本機以外では使用しないでください。

ヒント

- 受信ユニットの速度設定などは、マウスプロパティを開いて行ってください。

2 受信ユニットをコンピュータのUSB端子またはPS/2端子に接続する。

Mac OS 9.1以降をお使いの場合は、受信ユニットをUSB端子に接続するだけで、本機が認識され使用できるようになります(Mac OS 9.xは1ボタン仕様)。

はじめて本機を使用するときは、受信ユニットをコンピュータに接続したあと、初期設定が必要です。初期設定については、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をご覧ください。

1 コンピュータを起動する。

2 受信ユニットをコンピュータまたはキーボードのUSB端子に接続する。

自動的にコンピュータが本機を認識し、使用できるようになります。

ご注意

Mac OS 9.xは、1ボタン仕様の対応となります。

ヒント

- 本機の受信ユニットは、コンピュータの電源が入った状態でも接続したり取り外したりすることができます。
- ポイントの速度設定などはOS標準のマウス設定画面から行ってください。

Windowsをお使いの場合

USB端子に接続する場合

本機は、受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続するだけで認識され、使用できるようになります。はじめて本機を使用するときは、受信ユニットをコンピュータに接続してください。初期設定が必要です。初期設定については、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をご覧ください。

1 コンピュータを起動する。

2 受信ユニットをコンピュータのUSB端子に接続する。

コンピュータが本機を自動的に認識し、使用できるようになります。

ご注意

一部のコンピュータでは、OSのディスクを要求される場合があります。その場合はコンピュータの指示に従って操作してください。

ヒント

- 本機の受信ユニットは、コンピュータの電源が入った状態でも、接続したり取り外したりすることができます。
- 受信ユニットに力を加えると、受信ユニットが破損したり、コンピュータが故障したりする場合がありますので、注意してください。

PS/2端子に接続する場合

本機は、付属の接続変換アダプター(USB→PS/2)を使ってデスクトップコンピュータのPS/2端子に受信ユニットを接続して、コンピュータの電源を入れるだけで、本機が認識され、使用できるようになります。(ノートブックコンピュータではPS/2接続はできません。)はじめて本機を接続するときは、受信ユニットをコンピュータに接続したあと、初期設定については、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をご覧ください。

1 コンピュータの電源をOFFにする。

2 付属の接続変換アダプター(USB→PS/2)を使用し、受信ユニットをコンピュータのPS/2端子に接続する。

3 コンピュータを起動する。

コンピュータが本機を自動的に認識し、使用できるようになります。

ご注意

受信ユニットと本体の設定時以外に、本体のSETボタンを押さないようにしてください。受信ユニットの認識が解除され、動作できなくなることがあります。

SETボタンを押してしまい、動作できなくなった場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう一度行ってください。

ヒント

- 受信ユニットの速度設定などは、マウスプロパティを開いて行ってください。

Macintoshをお使いの場合

Mac OS 9.1以降をお使いの場合は、受信ユニットをUSB端子に接続するだけで、本機が認識され使用できるようになります(Mac OS 9.xは1ボタン仕様)。

はじめて本機を使用するときは、受信ユニットをコンピュータに接続したあと、初期設定が必要です。初期設定については、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をご覧ください。

1 コンピュータを起動する。

2 受信ユニットをコンピュータまたはキーボードのUSB端子に接続する。

自動的にコンピュータが本機を認識し、使用できるようになります。

ご注意

Mac OS 9.xは、1ボタン仕様の対応となります。

ヒント

- 本機の受信ユニットは、コンピュータの電源が入った状態でも接続したり取り外したりすることができます。
- ポイントの速度設定などはOS標準のマウス設定画面から行ってください。

ワイヤレスマウスを使うための設定

修理にお出しになる前に、もう一度点検してください。それでも正確に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

共通

症状 原因/対策

マウスがまったく動作しない/ポイントが動かない

・新しい電池に交換してください。
→ 受信ユニットと、マウスに近づけてください。それでも動かない場合は、「ワイヤレスマウスを使うための設定」をもう一度行ってください。

・対応以外のOSを使用している。
→ 対応OSをお使いください。

・スクロール機能に対応していないソフトウェアを開いています。
→ ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していない場合があります。

・アプリケーションがズーム機能に対応していない。
→ ズーム機能に対応したアプリケーションのみ機能します。

・マウスを動かしてもズーム機能が動作しない
→ マウスをしばらく使わないと、電池の消耗を少なくて済むためスリープモードになります。ポイントが動きだすまでに時間がかかるかもしれません。

・ノートブックコンピュータでポイント速度が設定できない
→ ノートブックコンピュータに内蔵されているボタンでマウスプロパティが優先されている。
→ ノートブックコンピュータの仕様によっては、マウスプロパティでポイントの設定速度を変更しても、タッチパッド操作でのポイント速度のみが変更されて、マウス操作でのポイント速度は変更されない場合があります。

・マウスがスリープモードにならない。
→ マウスをしばらく使わないと、電池の消耗を少なくて済むためスリープモードになります。ポイントが動きだすまでに時間がかかることがあります。その場合は、マウスパッドを使うか、ほかの物をマウスの下に敷く、または場所を変えてお使いください。

・USBプラグが正しく接続されていない。
→ 起動しているソフトウェアを終了してから、USBプラグを接続していただけます。(USB端子から、マウスの受信ユニットを含むUSB機器を抜いたあとに再び接続する場合は、約5秒間待ってから接続してください。)

・USBプラグが正しく接続されない。
→ ノートブックコンピュータで再び起動してから、USBプラグを接続していただけます。(USB端子から、マウスの受信ユニットを含むUSB機器を抜いたあとに再び接続する場合は、約5秒間待ってから接続してください。)

・マウスが認識されない。
→ ノートブックコンピュータの仕様によっては、マウスプロパティで有効になります。アンインストールする場合は、マウスプロパティの設定が有効になります。アンインストールのしかたについては、お使いのソフトウェアの取扱説明書などをご覧ください。

・マウスがスリープモードで再び起動してくださいます。
→ ノートブックコンピュータの仕様によっては、マウスプロパティでマウスのスリープモードを有効になります。アンインストールする場合は、マウスプロパティの設定が有効になります。

・マウスが認識されない。
→ ノートブックコンピュータで再び起動してから、USBプラグを接続していただけます。(USB端子から、マウスの受信ユニットを含むUSB機器を抜いたあとに再び接続する場合は、約5秒間待ってから接続してください。)

・マウスが認識されない。
→ ノートブックコンピュータで再び起動してから、USBプラグを接続していただけます。(USB端子から、マウスの受信ユニットを含むUSB機器を抜いた